

平成 25 年度

糸島市教育委員会の点検・評価に関する報告書



平成 26 年 7 月

糸島市教育委員会

目 次

1	点検・評価の趣旨	P1
2	教育委員の活動状況	P2
3	施策の取組状況	
	総括表	P6
	点検及び評価シート	P8
4	点検・評価に関する学識経験者からの意見	P25
5	資料	
	教育委員会委員名簿（平成26年3月31日現在）	P26
	平成25年度糸島市教育委員会組織機構図	P26

1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することになりました。

このことを受け、糸島市教育委員会では、教育委員の活動状況や毎年度策定する「糸島市教育基本方針」に掲げる主要施策をもとに点検・評価を実施し、報告書としてまとめました。

糸島市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進と住民への説明責任を果たしていくため、より一層の教育委員会の充実に努めてまいります。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員の活動状況

教育委員会会議、学校訪問等の状況

期 日	会議・行事等	備考
4月1日	教職員赴任式	
4月10日	中学校入学式	
4月11日	小学校入学式	
4月19日	福岡県市町村教育委員会連絡協議会総会	福岡県庁
4月19日	福岡県市町村教育委員会委員長・教育長会議	福岡県庁
4月25日	4月定例教育委員会	
5月2日	臨時教育委員会	
5月24日	5月定例教育委員会	
6月20日	加布里小学校 学校改善訪問	
6月26日	雷山小学校 学校改善訪問	
7月10日	前原西中学校 学校改善訪問	
7月11日	一貴山小学校 学校改善訪問	
7月17日	7月定例教育委員会	
8月7日	総務文教委員会との懇談会	
8月21日	8月定例教育委員会	
9月5日	教育委員人権教育研修会	吉塚合同庁舎
9月26日	9月定例教育委員会	
10月21日	市長との意見交換会	
10月23日	10月定例教育委員会	
10月23日	加布里小学校 学校改善確認訪問	
10月26日	教育の日制定記念大会	伊都文化会館
11月12日	教育委員長研修会	リーセントホテル
11月14日	管理職任用候補者面接	
11月15日	管理職任用候補者面接	
11月22日	雷山小学校 学校改善確認訪問	

期 日	会議・行事等	備考
11月22日	1 1月定例教育委員会	
12月20日	1 2月定例教育委員会	
1月30日	一貴山小学校 学校改善確認訪問	
1月30日	1月定例教育委員会	
2月5日	臨時教育委員会	
2月6日	前原西中学校 学校改善確認訪問	
2月19日	2月定例教育委員会	
2月19日	新任教育委員研修会	吉塚合同庁舎
3月5日	臨時教育委員会	
3月13日	中学校卒業式	
3月14日	小学校卒業式	
3月28日	3月定例教育委員会	
3月31日	教職員離任式	

平成25年度 教育委員会審議案件一覧表

議案番号	議 案 名	備考
議案第 1号	糸島市青少年育成指導員の委嘱について	第1回
議案第 2号	糸島市立公民館運営審議会委員の委嘱について	第1回
議案第 3号	糸島市指定文化財の指定について	第1回
議案第 4号	糸島市社会教育委員の委嘱について	第1回
議案第 5号	糸島市学校運営協議会規則の一部を改正する規則について	第4回
議案第 6号	糸島市立伊都文化会館指定管理者選定委員会設置規程について	第4回
議案第 7号	糸島市図書館条例施行規則の一部を改正する規則について	第9回
議案第 8号	糸島市立芥屋公民館条例の廃止について	第9回
議案第 9号	糸島市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について	第11回
議案第 10号	糸島市教育委員会事務局職務執行基本規則等の一部を改正する規則について	第11回
議案第 11号	糸島市立図書館における移動図書館廃止について	第11回

議案番号	議 案 名	備考
議案第 12 号	糸島市立伊都文化会館条例施行規則の一部を改正する規則について	第 11 回
議案第 13 号	平成 26 年度教育基本方針（案）について	第 11 回 第 12 回
議案第 14 号	教職員の懲戒処分の内申について	第 11 回
議案第 15 号	平成 26 年度糸島市一般会計当初予算案作成における教育に関する事務に係る部分の意見聴取について	第 13 回
議案第 16 号	平成 26 年度糸島市立小・中学校校長、副校長及び教頭の人事異動内申について	第 13 回
議案第 17 号	平成 26 年度糸島市立小・中学校教職員の人事異動内申について	第 13 回
議案第 18 号	糸島市立伊都郷土美術館条例施行規則等の一部を改正する規則について	第 13 回
議案第 19 号	糸島市立伊都文化会館条例施行規則等の一部を改正する規則について	第 13 回
議案第 20 号	糸島市立志摩歴史資料館条例施行規則等の一部を改正する規則について	第 13 回
議案第 21 号	糸島市文化財保護事業等補助金交付規程の一部を改正する規則について	第 13 回
議案第 22 号	糸島市スポーツ推進委員の委嘱について	第 15 回
議案第 23 号	糸島市立公民館条例施行規則等の一部を改正する規則について	第 15 回
議案第 24 号	糸島市体育施設条例施行規則等の一部を改正する規則について	第 15 回
議案第 25 号	糸島市立小中学校施設開放に関する条例施行規則等の一部を改正する規則について	第 15 回
議案第 26 号	糸島市立図書館条例施行規則等の一部を改正する規則について	第 15 回
議案第 27 号	糸島市青少年育成基金補助金交付規程の一部を改正する告示について	第 15 回
議案第 28 号	糸島市指定文化財の指定について	第 15 回
議案第 29 号	糸島市指定文化財の指定について	第 15 回

平成25年度 教育委員会臨時代理報告案件一覧表

報告番号	報告案件名	備考
報告第1号	糸島市社会教育委員の委嘱について	第1回
報告第2号	糸島市スポーツ推進委員の委嘱について	第1回
報告第3号	糸島市青少年育成指導員の委嘱について	第3回
報告第4号	糸島市立公民館運営審議会委員の委嘱について	第3回
報告第5号	糸島市青少年育成指導員の委嘱について	第3回

* その他協議案件、報告案件あり。

3 施策の取組状況

【 総括表 】

1. 「生きる力」を育む学校づくり

「確かな学力」を育成する教育の充実		
①学力向上事業		B
②九州大学との連携事業		
「豊かな心」を育成する教育の充実		
①小中学校連携事業		A
②個に応じたきめ細かな生徒指導事業		
「健やかな体」を育成する教育の充実		
①健やかな体をつくる食育の推進事業		B
②健康・安全教育の推進事業		
「特別支援教育」の充実		
①特別支援教育推進体制の充実事業		A
「信頼される学校づくり」の充実		
①人権教育推進事業		B
②学校評価推進事業		
今日的課題に対応した教育の充実		
①課題解決事業		B
学校教育を支える基盤の充実		
①学校施設整備の推進事業		B

2. 生涯学習推進のための環境づくり

生涯学習環境の整備・充実		
①生涯学習情報の提供		B
②ボランティア活動の推進		
青少年の健全育成		
①青少年健全育成に向けた環境整備		B
生涯学習推進のための環境づくり		
①地域の拠点としての公民館活動の展開と施設の整備		A
図書館サービスの充実		
①図書館サービスの環境整備		A
②ボランティアの育成		

3. スポーツ・レクリエーションの振興

スポーツ・レクリエーション施設の整備充実	
① スポーツ施設の充実	B
② 学校施設開放の推進	
生涯スポーツの振興	
① スポーツ人口の拡大	B

4. 文化・芸術のまちづくり

伊都国歴史博物館等の整備・充実・活用	
①博物館等の活用事業	A
史跡の整備・活用	
①指定文化財等の環境整備事業	A
文化財の保護・活用	
①文化財の保護・活用事業	B
文化・芸術の振興	
①文化振興事業	B

評価について

A	効果が上がっている
B	概ね効果が上がっている
C	あまり効果が上がっていない
D	改善の必要がある

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「確かな学力」を育成する教育の充実
2 事業名	①学力向上事業 ②九州大学との連携事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	学力向上プランの作成・実施・評価・改善を図りながら、子どもたちの基礎・基本の確実な定着を図る。 子どもたちの学ぶ意欲や授業力の向上を図るための九州大学との連携事業の在り方を究明する。
5 事業の内容	○学力向上のための校内推進体制の充実 ○学ぶ意欲や学習規律・学習習慣の育成 ○九州大学等との連携による教育の充実
6 取組状況	<p>学力向上プランについては、全ての学校・学年並びに学級で作成し、評価改善を図りながら子どもたちの学力向上に役立てている。また、市教委としても、教務主任研修会・調査研究・基礎講座等の各種研修会で子どもの学力向上を図るための授業改善に学校全体で組織的に取り組む方策の紹介等を行った。</p> <p>九州大学との連携事業については、伊都塾（質問教室）を夏季休業期間中に九州大学伊都キャンパスで中学校2・3年生の希望者に対して4日間実施し、子どもたちの学習への意欲や関心、さらに新学期に向けての学習意欲を高めるよう取り組みを行った。また、九州大学教育学部との連携事業では、学校のニーズと大学のニーズを踏まえた連携事業を行った。</p> <p>子どもたちの学力向上を図るため、退職校長や地域の人材を活用した個別学習、放課後学習を実施した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>全国学習状況調査の結果やCRT（小学校学力実態調査）・NRT（中学校学力実態調査）の調査結果を見ると、教科等によりバラつきはあるものの中学校の国語Aの全国学習状況調査を除いて全国平均を上回っている。</p> <p>また、Q-U（学校満足度）調査結果を見ると、満足群に位置する児童生徒の割合は、昨年度と同様に全国平均より高く、不満足群に位置する児童生徒の割合が大変少ないという結果が出ており、学力向上の基盤となる学習環境づくりの取組の成果が現れている。</p> <p>■課題</p> <p>さらなる学力向上を図るために、学校の課題に応じた組織的な改善と教師の指導力の向上と支援に努める。</p> <p>特に中学校区での実態分析や取組を行う等、学校間格差の解消に向けた取組が必要である。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「豊かな心」を育成する教育の充実
2 事業名	①小中学校連携事業 ②個に応じたきめ細かな生徒指導事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	子どもたちの規範意識の向上と不登校の予防・改善に向けて、小中学校の接続を円滑に行うための情報収集・活用等の教育活動の充実を図る。
5 事業の内容	○心に響く道徳教育の充実 ○個に応じた細やかな生徒指導の充実 ○教育相談の充実
6 取組状況	<p>小中学校連携事業では、糸島市の課題でもある学力と生徒指導のバランスを踏まえた改善に向け、各中学校区で取組も盛んに行われている。</p> <p>小中学校のいじめや不登校への対応に限らず、保護者からの相談も積極的に応じるなど家庭教育の支援も行っている。</p> <p>また、本年度は、不登校対策の教職員担当者研修会を2回開催した。</p> <p>平成25年度における不登校児童生徒の数は、平成24年度に比べ増加した。また、SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）の学校等への訪問回数は402件となっており、現場からの強いニーズがある。これらのことからSSWの必要性及び重要性を検討し、平成25年度から3名のSSWを配置している。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果 小中学校連携事業を推進することで、小学校の問題を中学校の教師が関わりを持って解決することができるようになってきた。</p> <p>中学校における不登校生徒の実態は、地域や家庭などの環境が十分に整備されていないことから発生する集団への不応であることが明らかになりつつある。</p> <p>中学校では、生徒指導部による組織的な取組にSSWが協力することで、学校に登校できる生徒が増えた。</p> <p>学校からの要請により派遣する方式のSSWの活用が進み、SSW担当者及び管理職を中心として、不登校児童生徒、家庭的に厳しい背景をもつ児童生徒に対して組織的・継続的に取り組むことができた。</p> <p>■課題 小中学校連携事業の成果や課題を発表・交流するような研修会を設定する。</p> <p>不登校については、中学校段階で顕著に表れるが、小学校段階での取組にも課題が認められることから、小学生をもつ親や保護者に対する支援を強化していく必要がある。</p> <p>SSWが集約した糸島市内の児童生徒及び家庭、地域の情報を教育委員会で完全に把握するために、各週に1回程度、指導主事等とSSWとの定例会を開くようにする。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「健やかな体」を育成する教育の充実
2 事業名	①健やかな体をつくる食育の推進事業 ②健康・安全教育の推進事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	健やかな体を育むための学校と家庭、地域の役割を明確にし、それぞれが責任を果たす。 新体力テスト等の結果や各種事業の活性化を図る。
5 事業の内容	○健やかな体をつくる食育の推進 ○体力の向上と文化・体育活動の活性化 ○健康・安全教育の推進
6 取組状況	<p>市内すべての小中学校で「食に関する指導の全体計画」を作成し、食育に関する授業改善が積極的に行われている。また、家庭や地域が連携した「早寝・早起き・朝ご飯」運動を推進している。</p> <p>本年度は前原南小学校で給食食器を強化磁器製に入れ替え、米飯給食の回数を平成25年4月からすべての学校で週4回となるよう推進した。</p> <p>体力・運動能力調査の結果を反映させた授業改善を行うと共に、運動部活動について外部指導者を積極的に活用した事業を展開している。</p> <p>平成24年度から中学校において武道が必修化されたことに伴い、市内の全中学校の施設を指導主事が直接点検し、設備等の安全性について指導を行うとともに、柔道経験者を指導者として招き、授業の充実と安全の確保を図った。</p> <p>地域や学校の実態に応じた薬物乱用防止教育や性教育・エイズ教育などについても年間計画に位置づけ実施している。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>体力・運動能力調査の結果については、小中学校ともに全国平均や県平均より高くなっている。</p> <p>これは、小学校段階での基礎・基本的な運動の定着と家庭における食育の推進、さらに、中学校での運動部活動の加入状況が高いことがひとつの根拠として考えられる。</p> <p>■課題</p> <p>運動を「ほとんど毎日」「ときどき」する児童生徒の割合は、小学校5年(女子)～6年(男子)まで増加し、それ以降減少傾向にある。特に中学校女子生徒の運動時間が少なくなっている。児童生徒の運動習慣を確立するために、体育の授業以外の時間にも何等かの手だてが必要である。</p> <p>また、食育の基本は家庭であり、学校で身につけた食に関する教育の実践の場として、家庭とのさらなる連携が求められる。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「特別支援教育」の充実
2 事業名	①特別支援教育推進体制の充実事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	<p>各学校の特別支援コーディネーター研修の実施や支援計画の作成による校内体制の充実を図る。</p> <p>特別支援教育支援員の配置によるきめ細かな指導の充実を図る。</p> <p>通級学級における特別な教育的ニーズのある児童への指導の充実を図る。</p>
5 事業の内容	<p>○特別支援教育推進体制の充実</p> <p>○特別支援学級、通級指導教室における指導の充実</p>
6 取組状況	<p>各学校の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会や特別支援教育支援員に対する研修会を実施し、役割や校務内容について説明、指導を行った。</p> <p>「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」に基づいた指導を行えるように学校訪問等を通して直接指導を行っている。</p> <p>きめ細かな指導を行うために、小中学校に特別支援教育支援員を配置している。</p> <p>みなかぜ相談や巡回相談を活用し、特別支援教育についての相談等を行える機会を設定している。</p> <p>東風小学校内と前原西中学校内に特別支援教育に係る通級指導教室を設置し、様々な教育ニーズに応じた指導を行っている。</p> <p>なお、東風小学校内の通級指導教室が満員で新規の入級ができない状況にあったため、新たに平成25年度から南風小学校内にも通級指導教室を設置した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>特別支援教育支援員の配置数を小学校では20名、中学校では9名の配置を行い、学校の実態に応じた支援体制の整備に努めた。</p> <p>みなかぜ相談の充実を図るとともに、東風小学校に設置している通級指導室については12名の児童が利用、また、前原西中学校の通級指導教室は8名の生徒が利用しており、個々の障害特性に応じた指導を受けることができています。</p> <p>また、平成25年度から新たに設置した南風小学校の通級指導教室は15名の児童が利用している。</p> <p>■課題</p> <p>支援を必要とする子どもの増加に伴い、きめ細かな支援の在り方について、通常学級の担任を対象とした研修会等を検討する必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	「信頼される学校づくり」の充実
2 事業名	①人権教育推進事業 ②学校評価推進事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	人権が尊重される「学習活動」「人間関係」「環境」づくりの充実を図る。 学校評価を生かした学校改善と結果の公表の実施を図る。 教職員の実践的指導力の向上を図るため、校内研修の支援並びに糸島市教育センター事業の充実を図る。
5 事業の内容	○人権・同和教育の充実 ○開かれた学校づくりの推進 ○教職員の実践的指導力を高める人材育成の充実
6 取組状況	人権が尊重される学校づくりを進めるために、同和教育副読本「かがやき」人権教育学習教材集「あおぞら」の計画的な活用をはじめ、各学校で道徳の時間の授業参観等を積極的に行っている。 学校評価の評価結果を踏まえた学校課題の重点化を図り、その課題解決に向けて学校組織が連鎖しながら改善に関わるように取り組んでいる。 各学校の校内研修や小中連携教育の研究発表会に指導主事が積極的に参加し、具体的な改善策について指導を行い、教職員の実践的指導力の向上を図りながら人材育成を進めている。 平成24年度に糸島市義務教育充実委員会において協議を重ね、平成25年度から土曜授業や教育の日を実施した。 保護者や地域住民が学校運営に参画することを目的として、本市3校目となる学校運営協議会（コミュニティスクール）を二丈中学校に設置した。
7 成果と課題、今後の方向性	□成果 すべての学校で同和教育副読本や人権教育学習教材集を活用した年間活用計画が作成され実施されている。 学校評価を人材育成や学校改善のツールとして活用している学校が増加している。 また、平成25年度から土曜授業と教育の日を実施した。 ■課題 学校関係者評価結果の生かし方について、工夫する必要がある。

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	今日的課題に対応した教育の充実
2 事業名	①課題解決事業
3 担当課	学校教育課
4 事業の目的	ICTの充実や情報の収集並びに課題解決に向けての研修の充実を図る。 情報活用及び情報活用モラルの基礎的な資質や能力の育成を図る。 小学校「外国語活動」の充実を図る。
5 事業の内容	○情報教育推進事業 ○小学校「外国語活動」推進事業
6 取組状況	電子黒板・大型液晶テレビの活用方法を普及発展するための活用事例集を作成し、各学校で利用促進を図るとともに、学級数の増減に伴い、大型液晶テレビ2台を他の学校に移管し有効活用を行った。(加布里小⇒桜野小) 環境・福祉などの課題については、関係部署及び外郭機関と連携を図った授業展開を行った。 学校図書館教育の推進を図るために、各学校に学校司書を配置し、図書室環境の整備充実を図るとともに、学期毎に学校司書研修会を開催し、学校司書の資質を向上させ、本に親しみをもつ子どもたちを増加させた。 また、平成25年度から、九州大学と連携し、小学校での英語学習の充実を図るため、「英語力向上事業」を3校で実施した。
7 成果と課題、今後の方向性	□成果 電子黒板や大型液晶テレビを活用した授業が、日常化され始め有効活用されている。 関係機関と連携した授業を行うことで、税や環境についての指導力を高めることができた。また、「英語力向上事業」の実施により、小学校低中学年の児童が外国語に親しむ機会を提供することができた。 各学校も学校司書を配置することにより図書室の環境整備を進めるとともに学校司書の資質の向上を図ることにより、図書の貸出数が増加するなど、図書への関心を高めることができています。 ■課題 今日的な課題が多面的になり、その解決を図るための研修会の在り方の工夫が必要である。

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	学校教育を支える基盤の充実
2 事業名	①学校施設整備の推進事業
3 担当課	教育総務課
4 事業の目的	安全・安心な教育環境の整備充実を図る
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設整備の推進 ○教育用パソコンの入替え(校務用77台)
6 取組状況	<p>学校施設等の危険箇所の優先的改修と老朽化している施設の順次改修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学校施設改修事業（小規模営繕工事） 小学校69件、中学校26件、計95件 ○小中学校防災機能強化事業 福吉小学校体育館外壁軒裏改修工事 前原東中学校体育館天井改修工事 福吉小学校体育館天井改修工事（繰越施工中） ○中学校空調設備整備事業 6中学校特別教室（各校2教室）に空調機を設置 ○小学校受電設備整備事業 小学校3校の受電設備の改修工事（更新）を実施 ○前原中学校校舎改築事業 木造校舎解体工事実施、仮設校舎リース開始 校舎改築工事のための実施設計業務を実施 ○二丈中学校プール新築事業 プール新築工事のための実施設計業務を実施 ○小中学校コンピュータ整備事業 WindowsXP及びOffice2003のマイクロソフト社のサポート終了に伴い、能力的に後継OSにアップグレードできない校務用パソコン77台(小54台、中23台)を入替え、校務の効率化及び情報セキュリティの強化を図った。 ○給食食器等入替事業 アルマイト食器を強化磁器食器に入替(前原南小) 洗浄機、消毒保管庫等の関連備品の入替
7 成果と課題、今後の方向性	<p><input type="checkbox"/>成果 市長マニフェストによる、学校施設のリニューアル（一般財源2億5千万円ベースのハード事業）の実施により、少しずつではあるが施設の改善ができた。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>課題 老朽化に伴う改善が必要な施設が数多く存在しており、毎年2億5千万円の一般財源予算では、老朽化したすべての学校施設をリニューアルすることはできない状況である。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	生涯学習環境の整備・充実
2 事業名	①生涯学習情報の提供 ②ボランティア活動の推進
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	市民の多様なニーズに応え、「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べるよう生涯学習環境の整備・充実を体系的に進める。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習情報誌の発行 ○出前講座の実施 ○ボランティア情報の一元化 ○ボランティア派遣事業の実施 ○ボランティア・市民活動団体等の支援
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習情報誌の発行 平成25年6月、各種イベントや講座・教室、サークル・ボランティア団体紹介、生涯学習関連施設等を掲載した情報誌を発行（1,400部）庁舎や公民館等公共施設に配布し、市民への情報提供を行った。 ○出前講座の実施 市役所67、関係機関23の各メニューを設定し延べ208講座開催、14,002人受講（関係機関分除く） ○ボランティア情報の一元化 地域振興課が所管する糸島市NPO・ボランティアセンターを主体に、糸島市社会福祉協議会、糸島市ボランティア派遣事務局のデータを収集し、市ホームページ上に公開 ○ボランティア派遣事業の実施 ボランティア派遣事業運営委員会に事業委託。387回、1,353人を派遣 ○ボランティア・市民活動団体等の支援 文庫活動計14団体に補助金交付
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果 ボランティア派遣実績については、前年より若干減少しているが、出前講座では多くの市民の方へ「生涯学習の場」や「高齢者の生きがいがづくりの場」の提供ができた。</p> <p>■課題 出前講座では、人気がある講座と、そうでない講座が二極分化が進んでいる。市民ニーズ等に応じた、講座メニューの企画が必要である。 ボランティア派遣事業では、登録者の高齢化が進んでいるため、新しい人材の発掘・育成が必要である。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	青少年の健全育成
2 事業名	① 青少年健全育成に向けた環境整備
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	時代を担う青少年たちが、心豊かに、広い視野で、高い志を持って、たくましく成長することを願って、健全育成事業を実施する。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成市民会議・校区民会議の充実 ○青少年育成指導員会の活用 ○社会教育関係団体の育成 ○青少年体験事業の実施 ○ジュニアリーダーの育成
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成市民会議・校区民会議の充実 平成22年6月、糸島市青少年育成市民会議設立、その後全15校区に校区民会議を設立し、地域の特性を生かした様々な青少年健全育成活動を行っている。 ○青少年育成指導員会の活用 各校区に1名配置（人口1,000人以上の行政区は2名）。現在、197名に委嘱し、夜間巡回、青パト巡回等を実施。 ○社会教育関係団体の育成 PTA活動団体等、計36団体に補助金交付 ○青少年体験事業の実施 小学4～6年生を対象とした「ドリームトレイサー2013」を実施。年6回、計10日間の事業により児童に様々な体験をさせている。事業例…真名子キャンプ、イカダづくり、ナイトハイク、井原山登山、野外調理など 中・高校生を対象とした「ジュニアリーダーズクラブどんぐり」を実施。年7回の事業により生徒に様々な体験をさせている。事業例…キャンプ、郷土料理づくり、野外調理など ○ジュニアリーダーの育成 中学生を対象に「ジュニアリーダー研修」を実施。年3回、計5日間の研修により、リーダーとしての理論、技術を学んでいる。15名が修了。
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果 青少年育成校区民会議や青少年育成指導員については、他校区との情報交換等を行いながら、それぞれの地域にあった取り組みが行われている。</p> <p>■課題 小学生・中学生の取り組みについては、活発に実施しているが、高校生を対象とした取り組みが少なく、今後、検討する必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	生涯学習推進のための環境づくり
2 事業名	①地域の拠点としての公民館活動の展開と施設の整備
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	生涯学習推進のため、利用者の立場に立った公民館運営、施設を充実させる。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館職員の研修の開催等により公民館職員の資質向上 ○公民館利用検討委員会では、運営上の課題解決を図る。 ○波多江公民館の整備
6 取組状況	<p>公民館新任職員研修、県公民館実践交流会、福岡地区公民館研修会等への職員の参加、また公民館主事の自主研修会の開催で公民館職員の資質向上を図った。</p> <p>波多江公民館の建替え工事を完了した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>研修会等への参加により、公民館講座の企画立案等、公民館の管理・運営の充実を図ることができた。</p> <p>波多江公民館の完成により、会議室等が増え、コミュニティ組織、サークルグループ等の活性化が図られる。</p> <p>■課題</p> <p>地域のニーズや地域課題等の変化への対応のため、今後も公民館職員の研修は必要である。また、公民館は様々な利用者、活動があり、今後も施設提供基準の見直しの検討が必要となる。</p> <p>施設については、老朽化した公民館の計画的な改修が必要である。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	図書館サービスの充実
2 事業名	①図書館サービスの環境整備 ②ボランティアの育成
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	市民の教育と文化の発展に寄与するため、資料の提供を通して市民の「知る権利」を保障し、生涯にわたる自己学習に資するよう図書館サービスの充実を総合的に進める。
5 事業の内容	○移動図書館車の巡回拡大 ○資料の収集及び提供 ○図書館と学校の連携 ○図書ボランティアの育成
6 取組状況	<p>○移動図書館車の巡回拡大 移動図書館については、合併後に巡回地を拡大していた平成23年度の二丈館、志摩館の開設もあり、貸出冊数自体は減少していた。また、移動図書館車も老朽化していたため、平成25年度末に移動図書館を廃止した。</p> <p>○資料の収集及び提供 平成25年12月から貸出冊数を10冊から20冊に変更し、図書館サービスの拡大を図った。このため平成25年度は貸出冊数は519,082冊となり、前年対比で2.6%の伸びとなった。</p> <p>○図書館と学校の連携 図書館と学校の連携を推進するため、糸島市学校図書館協議会を設置され、図書館は委員として、学校への図書の情報提供や指導等を行っている。また、糸島市小学生読書リーダー養成講座を開催し、小学校における読書活動の推進を図った。</p> <p>○図書ボランティアの育成 市民の読み聞かせボランティアへの関心・要望に応えるため、読み聞かせボランティア養成講座（講演会と講座）を開催。32名参加。 子ども読書に関連する諸団体等の交流の場である「子どもの読書」ネットワーク糸島では、福岡県地域福祉財団の助成金を受けてボランティア向けの講演会を開催した。 講師 脇 明子先生（ノートルダ清心学園理事）。130人参加。 「子どもの読書」ネットワーク糸島会員数14団体と個人10名。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果 3館体制の確立により、貸出冊数も順調に伸びてきている。また、ボランティア育成講座などの実施により、二丈館、志摩館にも支援ボランティアグループが結成された。</p> <p>■課題 移動図書館の代替サービスとして、団体貸出制度の拡充を実施しているため、さらなる利用促進を図る必要がある。 また、糸島市図書館、二丈館、志摩館の移転を進めるとともに、平成25年度に策定した「糸島市図書館サービス基本計画」に則り、本館・分館体制の確立、3館ネットワークの充実を図る必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	スポーツ・レクリエーション施設の整備充実
2 事業名	①スポーツ施設の充実 ②学校施設開放の推進
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	誰もがいつでも、どこでも気軽に参加できる条件整備を図る。
5 事業の内容	○学校教育に支障のない範囲で、小中学校体育施設を地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放。 ○市民のニーズに合った運動施設の整備と、既存施設の合理的活用。 ○老朽化した立花運動場の改修工事。
6 取組状況	○学校教育に支障のない範囲で、小中学校体育施設を地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放。 小学校開放施設は公民館において調整会議を開催し、利用者の希望に沿った利用ができるよう調整している。 中学校開放施設は、生涯学習課において利用の調整を行い、利用者の希望に沿った利用ができるよう調整している。 ○市民のニーズに合った運動施設の整備と、既存施設の合理的活用。 市内体育施設及び学校開放施設利用者のニーズに合った備品整備を行っている。 ○老朽化した立花運動場の改修工事を継続している。
7 成果と課題、今後の方向性	□成果 ○学校開放施設は中学校6施設（82団体）、小学校15施設（186団体）を併せて268団体が利用している。 ○グラウンドゴルフセットを購入した。 ○立花運動場整備（フェンス設置工事46m） ■課題 ○利用者の安全・快適性を確保するため、老朽化した施設の計画的な改修・修繕が必要。 ○スポーツ種目・団体の多様化に伴い、今後も不足している備品の計画的な整備が必要。

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	生涯スポーツの振興
2 事業名	① スポーツ人口の拡大
3 担当課	生涯学習課
4 事業の目的	市民の誰もが生涯にわたってスポーツに親しめるようスポーツの振興を図る。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ニュースポーツの指導普及。 ○青少年スポーツ、高齢者スポーツの取組。 ○各種スポーツ大会等の開催。
6 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ニュースポーツの指導普及 小学校や放課後児童クラブにおいて、スポーツ推進委員によるニュースポーツ、軽スポーツの指導普及を行っている。 ○青少年スポーツ、高齢者スポーツの取組 青少年スポーツとして、スポーツ少年団等の指導育成を行っている。 健康づくり課主催のしあわせ教室にスポーツ推進委員を派遣するなど、高齢者を対象としたニュースポーツの指導・普及を行っている。 ○各種スポーツ大会等の開催 体育協会との共催により糸島市体育大会、スポーツフェスティバルを開催し、各競技団体等が開催する大会やイベントの後援を行っている。
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果 スポーツ推進委員による小学生を対象としたニュースポーツ指導や体力テストの補助を25回、高齢者を対象としたニュースポーツ指導（しあわせ教室）を6回実施した。</p> <p>■課題 ニュースポーツ指導等の依頼については、今後ともボランティア派遣事業事務局との連携により事業を進める。また、ニュースポーツ用具等を計画的に整備し、積極的な普及を図る。</p> <p>スポーツ大会等の充実を図り、スポーツ人口を増加させる。糸島市体育協会の会員数については、平成27年度の目標値を6,040人とする。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	伊都国歴史博物館等の整備・充実・活用
2 事業名	①博物館等の活用事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	<p>○伊都国歴史博物館や志摩歴史資料館を拠点として、市民が故郷の歴史文化に親しみを抱き、また誇りを持てるように、展示会や各種講座の開催を軸に啓発活動を展開するとともに、文化財の保護、保全活動にも取り組む。</p> <p>○糸島ブランドのひとつである「伊都国」を核に、市内の文化財を活用して、博物館を拠点とした歴史のまちのイメージアップを進める。</p>
5 事業の内容	<p>○博物館等の充実と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊都国歴史博物館の企画展示、調査研究の充実 ・志摩歴史資料館の活用 <p>○教育普及活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館ボランティアの育成と活用 ・博物館資料を活用した講座の充実 ・地域活動や教育活動との連携した事業の展開
6 取組状況	<p>秋季特別展として、弥生時代のクニグニ誕生前夜の様相を考察した「倭国創生」展を開催し、5,000人を超える入館者があった。特別講演会として桜井市總向学研究センター長の寺沢薫氏を招いて、大和政権成立前夜の伊都国の重要性について講演いただき高い評価を得た。</p> <p>企画展として「糸島の弥生文化」展、平成22～24年度の文化財調査成果を紹介する「伊都国発掘2013」展、高祖神社の歴史と文化財を紹介した「高祖神社の歴史と文化」展などを開催し地域の歴史文化の紹介に努めた。</p> <p>普及活動として、講座は名誉館長講座12回、館長講話12回、特別講演会1回、伊都学7回、とびだせ博物館2回等を開催し、文化財の普及ならびに学習の場の提供に努めた。また、博物館ボランティアの会と連携し文化講演会やボランティア研修会なども開催している。</p> <p>出前講座、博物館での観覧等、市内小中学校の利用回数は計48回となり、利用回数は増加している。</p> <p>また、志摩歴史資料館においても企画展として「懐かしのレトロ看板」展、「世界の昆虫」展、「糸島ノスタルジアー昭和の写真ー」展、「糸島のおひなさま」展を開催した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>企画展示では、昨年度に引き続きテーマを原始から近代まで広く設定し多様な糸島の歴史を紹介し、市民の郷土に関する見識の拡大に努めた。なかでも「懐かしのレトロ看板」展、「糸島ノスタルジア」展では、昭和期の庶民生活を紹介した展示会として、高い評価を得た。</p> <p>地域の教育活動との連携では、小中学校との授業での来館が徹底されたことにより利用率が向上した。また、公民館、市民団体、ボランティアの会が企画する歴史講座についても前年度に引き続き学芸員を派遣し、積極的に対応した。</p> <p>■課題</p> <p>伊都国歴史博物館と志摩歴史資料館で年間計8回の展示会を開催しているが、現有の学芸員の体制では企画に必要な資料の収集・調査研究の時間が確保できないため、企画の先細りが深刻化している。</p> <p>また、市民が私蔵する文化財に関する問い合わせ、寄贈・寄託の相談件数も増加傾向にあり、博物館等での収蔵能力も考慮し、市内の各種文化財の基礎調査、対策案の検討等も進める必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	史跡の整備・活用
2 事業名	①指定文化財等の環境整備事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	重要遺跡の計画的な発掘調査を行い、遺跡の保存と史跡指定に向けた資料の収集を行う。 国指定史跡の買上事業を行い、史跡の保全に万全を期すとともに、指定史跡等の維持・管理を行う。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○糸島市内遺跡の計画的発掘調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡指定に向けて行う重要遺跡の確認調査 ○指定文化財等の計画的環境整備の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡等用地の公有化事業 ・史跡の維持・管理 ・史跡等説明板の整備
6 取組状況	<p>重要遺跡確認調査においては、三雲・井原遺跡の発掘調査を実施し、国の史跡指定の資料および今後の遺跡の保存の資料とした。</p> <p>史跡整備のための用地買上事業は、2カ所の国指定史跡の用地買上を行った。</p> <p>史跡の維持・管理では、業者及び行政区等に委託し実施し、史跡等の説明板については1ヶ所を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡発掘調査(補助事業) <ul style="list-style-type: none"> 三雲・井原遺跡一南小路地区 1,133㎡、井の川地区 500㎡ 怡土城跡一高来寺地区 10㎡、高祖地区 2.5㎡ 篠原東遺跡 11,600㎡ (一部に国庫補助金充当) 報告書作成-三雲・井原遺跡 出土遺物保存処理 (10点、御床松原遺跡、引ヶ浦古墳出土 アワビオコシ、鉄鏃) ・国指定史跡史跡用地買上(補助事業) <ul style="list-style-type: none"> 新町支石墓群 1筆 志摩新町73番 572㎡ 怡土城跡 1筆 大門520-6番 178㎡ ・指定文化財の管理事業 <ul style="list-style-type: none"> 業者委託 (除草等業務) - 銚子塚古墳(2回)、二丈岳城(1回)、釜塚古墳(2回)、怡土城跡(8回)、平原遺跡(3回)、曾根遺跡群(2回)、井原1号墳(1回)、塚田南遺跡(1回) 行政区等委託 (除草・巡回等) - 11行政区 (三雲-三雲遺跡、高祖、大門、高来寺-怡土城跡、飯原-雷山神籠石、雷山-雷山の観音杉・雷山神社のイチョウ・雷山神籠石、油比-油比の殿川、平原-平原遺跡、志登-志登支石墓群、西堂-西堂古賀崎古墳、志摩新町-新町支石墓群)、1自治会 (レガロ深江-塚田南遺跡)、2団体 (泊井戸の会-泊産安の井戸、姉子の浜の鳴き砂を守る会-姉子の浜・鳴き砂) ・史跡等説明板の整備 <ul style="list-style-type: none"> ワレ塚古墳 1ヶ所
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>重要遺跡確認調査においては、三雲・井原遺跡の発掘調査において国指定に向けての基礎資料を追加することができた。史跡地については、買上事業を実施し、確実に史跡を保存することができた。また、維持・管理においては行政区等と連携して草刈り等の管理を行い、市民に憩いと歴史学習の場を提供することができた。</p> <p>■課題</p> <p>史跡指定地が広範囲に及び、竹や高木の管理が必要な箇所が多くあるため計画的な施策が必要である。また、史跡の活用を図るため、計画的な整備事業を行う必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	文化財の保護・活用
2 事業名	①文化財の保護・活用事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	文化財が貴重な国民共有の財産であり、公共のために大切に保存する。文化財の公開や啓発事業の実施によって、文化財を守り郷土を愛する意識を醸成する。 地域と連携した保護活動によって文化財愛護思想の普及を図る。
5 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護・保存 <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財発掘調査の実施 ○文化財愛護思想の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・報告会の開催と啓発資料の充実 ○無形文化財の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・保存団体との連携と後継者育成
6 取組状況	<p>開発事業に伴う発掘調査を行い、遺跡の記録保存を行った。また、発掘調査の成果の公開事業として、現地説明会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡発掘調査(受託事業) <ul style="list-style-type: none"> 篠原東遺跡群(前原東区画整理事業用地内) 11,600㎡ ・市内遺跡発掘調査(市単独) <ul style="list-style-type: none"> 三雲・井原遺跡出土品整理作業他 開発事前審査(170件) ・発掘調査現地説明会 <ul style="list-style-type: none"> 篠原東遺跡群 2回、三雲・井原遺跡 1回 計3回 <p>「伊都国散策マップ」10,000部を増刷し、無料で配布し伊都国歴史博物館周辺の文化財の紹介に努めた。 歴史漫画「伊都国ロマン」7,000部を増刷し、歴史学習の副読本として市内小学校6年生全員に、伊都国の歴史の紹介として新しく糸島市に転入された方に配布した。 無形民俗文化財を保存・伝承している保存団体に対する補助として県指定高祖神楽育成補助金、市指定福井神楽育成補助金、市指定大入盆綱引き育成補助金を交付した。</p>
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果</p> <p>発掘調査においては、糸島市内の遺跡の資料を保存、蓄積することができた。 発掘調査現地説明会は計3回を実施し、市民に対し調査成果を公開することができ、発掘調査事業への理解を促進することができた。 「伊都国散策マップ」「伊都国ロマン」の配布は、市民が糸島の歴史に親しむきっかけとなった。 民俗文化財保存団体への補助金を交付し、無形民俗文化財を伝承することができた。</p> <p>■課題</p> <p>文化財愛護思想の普及のために文化財説明資料の充実を図る必要がある。</p>

主要施策の点検及び評価シート

1 主要施策名	文化・芸術の振興
2 事業名	①文化振興事業
3 担当課	文化課
4 事業の目的	市民が身近で文化にふれ、鑑賞し、体験できる機会をつくり、自ら文化を創造していくことができる仕組みづくりや活動の場を提供する。 文化団体と連携し文化事業を充実させるとともに、文化芸術関係団体を支援し自主的な文化芸術活動を促進する。
5 事業の内容	○文化事業の充実 ○文化芸術関係団体への支援。
6 取組状況	<p>各種文化事業を推進するため、市単独事業の開催、共催事業の開催に取り組んでいる。</p> <p>○市単独事業 糸島市合併記念事業として平成22年度に誘致した県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展」やアクロスレインボーコンサート等の開催を機に実施した事業を市単独事業として継続して取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸島市立中学校美術部生徒作品展 会期 平成25年10月30日～11月4日 入館者数539人 ・みんなのコンサート 平成25年9月21日(土) 志摩歴史資料館 ハルモニー・セレスト 観客数 163人 古楽器(チェンバロ、ハープ)とソプラノ・アルトの5人編成によるコンサート 平成26年3月23日(日) 深江公民館 マリンバスケルツォ 観客数 143人 マリンバとピアノ、パーカッションのトリオによるコンサート <p>○共催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸島市吹奏楽祭 平成25年4月28日(日) 伊都文化会館 ・糸島芸術の祭典 平成25年11月中旬・下旬 伊都文化会館・伊都郷土美術館 ・糸島美術工芸展 平成26年1月4日(土)～13日(月) 伊都郷土美術館
7 成果と課題、今後の方向性	<p>□成果 中学校美術部生徒作品展では、25年度より美術館において、表彰式と作品講評を行った。 コンサートは、市民が気軽に音楽を楽しむ場として提供することができた。また、アンケート調査を実施した結果、全体的に好評であった。</p> <p>■課題 持続性ある優れた芸術文化の提供が少ないことが課題である。今後、市主催事業を増やしたり積極的に共催事業に取り組むことが必要である。また、事業の認知度を上げ、参加者を増やすため周知方法を検討する必要がある。</p>

4 点検・評価に関する学識経験者からの意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律27条2項の規定に基づき、標記の報告書に対し若干のコメントをさせていただきます。

まず、2頁から5頁の糸島市教育委員の活動では、定例の教育委員会会議、学校訪問等の各状況について、続いて教育委員会審議案件の一覧がまとめてあります。定例の会議や学校訪問について、教育委員会としての職責を十分に果たしていることが伺えます。また、審議案件や学校訪問についてその数が増加している中で、教育委員の資質向上の研修機会等についてもより充実する方向で推移していることも評価できます。これから教育委員会の新しいあり方が注視されることとなりますが、糸島市教育委員会が実質的な事業・議事に多くの時間をかけるとともに、それを支える人的条件づくりを着実にやっている証左でもあり、今後とも資質向上等の研修の機会を大事にしていいただければと思います。

次に、施策の取組状況について、総括的な評価と具体的な主要施策の点検及び評価が6頁以降にまとめられています。6頁から7頁の総括的な評価については、これまでと同様に『『生きる力』を育てる学校づくり』7項目、「生涯学習推進のための環境づくり」4項目、「スポーツレクリエーションの振興」2項目、「文化・芸術のまちづくり」4項目の、計17項目について、4段階（A効果が上がっている／B概ね効果が上がっている／Cあまり効果が上がっていない／D改善の必要がある）で評価されています。評価結果についても17項目中、6項目がA、11項目がBであり、CとDの評価のついた項目はないという評価がなされています。また、8頁以降の主要施策の点検及び評価シートには、評価根拠となるような具体的な取組状況ならびに成果と課題が記載されています。

まず、昨年同様すべての領域にわたって及第点に達した成果を挙げている実感を持っていることは、行政として重要なことだと評価できます。また、それぞれの基本目標の達成に向けて実施された事業を通覧すると、各々の評価根拠が具体的で妥当なものであることがわかります。今後とも各委員間、各事業を担当する部署において、ここに記載されている各事業の下で展開されている複数のより具体的な事業も含めて、取組状況、成果と課題、今後の方向性を共有することが重要です。例えば、Q-U調査の結果で不満足群に位置する児童生徒が大変少ないことは評価できます。それでも一定数いる不満足群の児童生徒がどんな子どもたちかを手がかりに、調査結果をゼロにするためにではなく、一人ひとり個性ある多様な子どもたちが安心して学び生活できる学校環境を構築する取り組みを学校現場とともにすすめていくこと等が不登校の問題への対応にもつながることと思います。

最後になりますが、各施策の課題の解決を通した事業のより一層の充実のためには、財政面での支援も必要であり、その支援を得るためには教育の重要性を市民の皆様が一層理解していただくことが肝要です。そういった理解はまさに子どもたちがよりよい教育を受けることにより得られるものですから、中長期の展望をもって、具体的な改善の方向を糸島市の教育関係者各位が共通に認知し、それぞれが当事者意識をもって、改善の実現に努力されますことを願い、この報告書がその一助となりますことを祈念します。

平成26年7月9日
九州大学大学院教授 田上 哲

5 資料

教育委員会委員名簿（平成26年3月31日現在）

区 分	氏 名
教育委員長	徳 田 敬
委員（職務代理者）	西 憲 一 郎
委員	松 尾 実 恵
委員	宮 崎 眞 希 子
教育長	家 宇 治 正 幸

平成25年度糸島市教育委員会組織機構図

